

徳島商 甲子園へ

▽高校野球徳島大会決勝

徳島商	020	010	100	4
鳴門	000	000	010	1

鳴門に4-1

12年ぶり24度目

第105回全国高校野球選手権徳島大会最終日は27日、鳴門オロナミンC球場で決勝が行われた。徳島商が4-1で鳴門を破り、12年ぶり24度目の優勝を果たした。



優勝を決め、マウンド上で喜びを爆発させる徳島商の選手たち。鳴門オロナミンC球場（立花善晴撮影）

徳島商は二回、吉田大馳の中前打と真鍋成暲の死球で1死一、一二塁とし、森煌誠こうだいの右中間二塁打で2点を先制。五回は1死一、三塁から横手亮汰が中犠飛を放って3点目を挙げ、七回も横手の中越え適時二塁打で1点を加えた。

徳島商の本格派右腕森煌誠は、140キロ台の速球と変化球で緩急をつけながらストライク先行の投球を続け、1失点で完投した。

鳴門は4点を追う八回、1死から左翼線二塁打で出た桐川翼が進塁打で三塁に進み、豊田凌平の右前打で生還。九回も1死一、二塁のチャンスをつくったが、後続が倒れた。

全国高校選手権は、8月6日から17日間（休養日3日含む）、兵庫県西宮市の甲子園球場で開かれる。組み合わせ抽選は同3日に行われる。